

日本基督教団 八ヶ岳教会 降誕祭 主日礼拝 NO.1256 2021年12月25日 10:30~

牧師	山本護	司式	辻りち子	奏楽	花曲琴音	教会トーンチャイムアンサンブル
前奏	トーンチャイム			讃美歌	109	きよしこのよる
讃美歌	102	もろびと声あげ		聖餐式		
祈禱				讃美歌	203	しずけくやすけき
信仰告白	使徒信条	566		献金		トーンチャイム
聖書	詩編	18:28~29		讃詠	547	いまささぐるそなえものを
	ルカによる福音書	2:8~21		黙禱		
讃美歌	106	あら野のはてに		主の祈り	564	
説教	『降誕への旅は夜』			頌栄	543	主イエスのめぐみよ
祈禱				祝禱		後奏

「その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた(ルカ 2:8)」。父祖である族長たちの伝統は羊飼いだ、が、当時は農業や交易が経済基盤となっていて牧畜は時代遅れの零細稼業だった。また悪霊跋扈する原野で寝食し、律法など到底遵守できないので穢れ者扱いだった。マタイ福音書では異教徒が降誕した救い主を見つけ、ルカ福音書では被差別者の羊飼いが救い主を見つける。

今日、どんな社会層が降誕の主を見つけるのか、という想定は単純過ぎる。それより、一人ひとりが自分自身のどこでクリスマスと出会うのか、と考える方がリアルではないか。場面は「夜」。近頃「マウントをとる」という表現を聞くが、これは「昼」を競い合う虚構自慢だ。クリスマスは昼ではない。誰にも自慢しようのない、一人ひとりの、ひっそりした夜にクリスマスはやって来る。

イメージしてみよう。野宿する羊飼いらの目は虚ろだった(2:8)。父も、祖父も、曾祖父も羊飼いで、幼い頃から働き続け、安定しているが皆貧しい一生であった。そこに忽然と天使が現れ、彼らは腰を抜かす(2:9)。すると天使は「恐れるな、わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる(2:10)」と言った。天使の「恐れるな」という言葉で、羊飼いの虚ろな目には光が灯り、全財産の羊を夜の野に残して闇の中をベツレヘムへ走り、「飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた(2:16)」。

真夜中にどうやってその家畜小屋を探し当てたのか。見通しや根拠など、無い。虚ろな目に灯された救いの光がそこへ導いたのだ。「マリアとヨセフ、飼い葉桶の乳飲み子(2:16)」。この場面は「聖家族」と言い習わされるが、バルセロナには今なお建築途上の、聖家族(サクラダファミリア)教会という途轍もない建造物がある。八ヶ岳教会(伝道所)の建築も、酷暑や厳冬、意匠や資金のことで度々手を休め、そのうち完成するだろうという心持ちだった。ある牧師から「まるでサクラダファミリアだね」と好意的に言われたが、こちらのサクラダファミリアは、本家よりも後に着工して先に完成した。

聖家族に遭遇するのは、見通しや根拠がある「昼」ではない。足許も、道筋も、目的地も定かではない「夜」の原野を、「恐れるな」という光を頼りに進み、すうっと辿り着いた。クリスマスとは、そうした世界の夜に起こり、私たち一人ひとりの夜のただ中で遭遇する奇跡。だから人間誰もが抱えている闇を「恐れることはない(1:13,30)」。こんな人間の闇にこそ、救いの光が灯されるのだから。

「主よ、あなたはわたしの灯を輝かし、神よ、あなたはわたしの闇を照らしてください(詩編 18:29)」。虚ろな目に灯される主の輝き、誰にも分らない私の闇に照らされる神の栄光。ザカリア(ルカ 1:13)やマリア(1:30)、羊飼いら(2:10)のように、私たちもまた「恐れるな」という神の言葉を受けて、虚ろな目に光を灯す。「あなたは貧しい民を救い上げる(詩編 18:28)」。それまでの暮らしがガラッと変わるわけではない。羊飼いは野宿する原野(ルカ 2:8)へ「神をあがめ、賛美しながら帰って行った(2:20)」。ただ彼らの瞳には主の輝きが与えられている。羊飼いの貧しい日々は、救いの中であって輝くだろう。

降誕を巡る一連の奇跡を「マリアはすべて心に納めて、思い巡らしていた(2:19)」。この姿勢が大事。

「わたしの灯(詩編 18:29)」は創造された時からすで在る 「恐れるな(ルカ 2:10)」という言葉は火種 羊飼いには虚ろな瞳に灯される光 占星術師には星 それに従い広大な闇を渡る 降誕への旅は夜

1/29(水)10時頃から大掃除、11時頃から餅つき。都合着く方は参加してお正月の餅にして下さい。

1月第一主日は元旦なので役員会は1/8。新しい年は、主の御心をなおいっそう受け取れますように。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。